

学校としてのJアラート情報受信時の対応と生徒への周知事項

北海道雄武高等学校

【登校前に警報を聞いたとき】

- 「屋内避難の呼びかけ」があった場合は登校を見合わせ、続報を待つ。テレビ等で落下場所などについて情報が入り、安全が確保されてから登校する。
(臨時休校、始業時間の繰り下げ等の措置がある場合は、学校から連絡が入る)

【登校、下校の途中で警報を聞いたとき】

- 近くのできるだけ頑丈な建物や地下街などに避難する。
- 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
- できるだけ窓から離れ、できれば窓がない部屋へ移動する。

【学校で警報を聞いたとき】

- 教職員から放送、口頭でJアラート受信内容に基づく生徒への指示。
- グラウンドに生徒がいる場合は、教室等校舎内に避難する。校内の緊急放送で速やかに校舎内に戻す。
- 校舎内に戻る余裕がないときは頭を守って地面に伏せさせる。
- 体育館で授業中の場合は、生徒を体育館の中央に集めて頭を守って伏せさせる。
- 教室、特別教室、体育館では時間に余裕があれば窓のカーテンを閉めさせる。
- 教室等では、教員の指示のもと、廊下に出て頭を守って伏せさせる。廊下に出る時間的な余裕がない場合、爆風等による窓ガラスの飛散から身の安全を守るため、机を窓からできるだけ離して窓に背を向けて机の下に入らせる。教員は生徒がきちんと身の安全を守れるように指示する。
- 弾道ミサイルの落下の恐れがなくなってから、全校生徒を体育館に誘導して生徒の安全を確認する。
- 緊急一斉下校が必要と判断した時は、下校時の安全を教職員が確認し、家庭へ連絡し生徒を引き取りに来てもらう。